全国大学書道学会
# 会報
1
平成15年（2003）
3月31日発行
全国大学書道学会

## 平成十四年度
## 全国大学書道学会静岡大会　報告

静岡大学　平形　精一

平成十四年度全国大学書道学会静岡大会が、十一月十七日、静岡大学を当番校として東静岡駅前に新装となった静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ十階を会場に華々しく開かれた。静岡での開催はちょうど二十年ぶりである。今大会は好立地の完備された施設が確保されたことに加え、県内の書道関係者への参加を広く呼びかけたこともあり、会員一二〇名の他三十名を超える一般からの参加があった。

午前の総会では予・決算、事業計画案などの所定議案を可決承認した後、十時から三分科会に分かれて計一二件の研究発表があった。第一会場は中国書道史関係、第二会場は作品・様式関係、第三会場は日本・朝鮮書道史関係で、どの会場も熱気のこもった充実した発表であった。

昼食をはさんで、江口尚純静岡大学助教授による「宋代における文人の成立と芸術思想」と題する記念講演が行われ、書を中心とした題跋や落款の起源など興味深い内容を取り上げ、豊富な資料に基づいた学問的見地での緻密な研究と明快な語り口で好評を博した。

引き続き午後二時半より、石井健（東学大助手）の「東大寺献物帳所蔵『扇書』考」、森上洋光（四国大講師）の「楊法の書法への一考察」、沓名健一郎（静岡大院生）らの「字座の研究 ―マッハ効果とポテンシャル場を用いて」の三件の発表があり、いずれも会員からの注目を浴びる質の高い研究であった。

また同会場の特設会場では、会員八十余名による「会員作品展」が、昨年の上越大会と同じ折帖形式で展示された。一昨年までの半切大の作品を望む声もあったが、これは先回の静岡大会との重複をさけ、教材としての利便性を考慮したものであった。

記念講演

なお、記念撮影は翌日の全国大学書写書道教育学会大会の昼休みとなったが、幸いにして写真に霊峰富士をおさめられ、昨年からの懸案とされていた託児室が確保できたのも今大会の特筆すべきことであった。

ご参加いただいた会員の皆様にお礼を申し上げるとともに、ご協力いただいた関係各位に厚く感謝申し上げる次第である。

# 平成14年度　全国大学書道学会　静岡大会　次第

1）主　　催　　全国大学書道学会
2）後　　援　　静岡県大学書道学会
3）開催大学　　静岡大会
4）日　　時　　平成14年11月17日（日）
5）大会会場　　グランシップ・静岡県コンベンションアーツセンター10階
〒422-8005　静岡市池田79-4　〔東静岡駅下車〕
tel　054-203-5713　　fax　054-203-6710
6）参 加 費　　4,000円

**次　第**

9：00　受　付

9：30　**開会式・総会**（第１会場　1001-2）　　総合司会　事務局

| | | |
|---|---|---|
| １、開会の言葉 | | 野中　浩俊（新潟大学） |
| ２、会場校挨拶 | 学部長 | 金井　省二（静岡大学） |
| ３、会長挨拶 | | 小木　良一（帝京大学） |
| ４、退職者への記念品贈呈 | | 小木　良一（帝京大学） |
| 議長選出　〔川又　正（茨城大学）〕 | | |
| ５、議　事 | | |
| １）平成13年度事業報告 | | 青山　浩之（横浜国立大学） |
| ２）平成13年度決算報告 | | 青山　浩之（横浜国立大学） |
| ３）平成13年度会計監査報告 | | 前田舜次郎（元跡見学園女子大学） |
| ４）平成14年度事業計画案 | | 青山　浩之（横浜国立大学） |
| ５）平成14年度事業予算案 | | 青山　浩之（横浜国立大学） |
| ６）紀要掲載論文査読規定について | | 横田　恭三（跡見学園女子大学） |
| ７）紀要執筆要項について | | 横田　恭三（跡見学園女子大学） |
| ８）日本学術会議第19期登録申請について | | 野中　浩俊（新潟大学） |
| ９）次年度開催校挨拶 | | 小原　俊樹（福岡教育大学） |
| 10）新入会員紹介 | | 柿木原くみ（相模女子大学） |
| 11）その他 | | |
| ６、閉会の言葉 | | 阿保　直彦（立正大学） |

10：00　**研究発表・午前の部**（３分科会）
【第１会場】1001-2（４件）　　司会　横田　恭三（跡見学園女子大学）
【第２会場】1001-1（４件）　　司会　加藤　僖一（新潟大学）
【第３会場】1003　（４件）　　司会　竹之内裕章（佐賀大学）
発表１　10：00～10：30
発表２　10：30～11：00
発表３　11：00～11：30
発表４　11：30～12：00

12：00　**昼　食**

13：00　**記念講演**（第１会場　1001-2）
「宋代における文人の成立と芸術思想」
江口尚純先生（静岡大学助教授・中国古典学会総務理事）

14：30　**研究発表・午後の部**（第１会場　1001-2）３件
司会　鶴田　一雄（新潟大学）
発表１　14：30～15：00
発表２　15：00～15：30
発表３　15：30～16：00

16：00　**分科会報告**　〔各分科会の司会者による〕

16：20　**閉会の言葉**　　西橋　靖雄（大阪教育大学）

**解　散**

## 研　究　発　表

10：00～12：00　**研究発表〔1〕**

【第１会場】（1001-2室）

１．傅山の学書観―傅山書論中に見られる董其昌書論の受容と反発―
新潟大学大学院生　佐藤　雄司

２．碑碣の方角
帝京大学大学院生　藤川　直人

３．山東省と周辺地域出土の墓誌に関する考察―賈思伯墓誌を中心として―
愛媛大学助教授　東　賢司

４．北魏における義邑造像記について
東京学芸大学講師　橋本　栄一

【第２会場】（1001-1室）

１．日比野五鳳の仮名作品における空間―紙面における「拡がり」を中心に―
大阪教育大学大学院研究生　丸山　果織

２．昭和初期における「漢字仮名交じりの書」に関する一考察
横浜国立大学大学院生　栁澤ももこ

３．仮名文における文字研究史
筑波大学附属駒場中学校講師　松本　守

４．作品解釈における性差意識
東京学芸大学非常勤講師　豊口　和士

【第３会場】（1003室）

１．日本書道史上に見える血書・朱書写経の研究
東京学芸大学大学院生　石井　園美

２．百済武寧王陵出土誌石の書的研究―字体・字形の考察を主として―
東京学芸大学大学院生　佐藤　英樹

３．山内敬齋の刻印に関する一考察
新潟大学大学院生　古屋　彰士

４．渡邉湖畔宛會津八一書簡から錢瘦鐵に関するものについて
新潟市立沼垂高等学校教諭　角田　勝久

12：00～13：00　**昼　　食**

13：00～14：30　**記念講演**（第１会場　1001-2室）

14：30～16：00　**研究発表〔2〕**（第１会場　1001-2室）

１．『東大寺献物帳』所載「扇書」考
東京学芸大学助手　石井　　健

２．楊法の書法への一考察―高翔の影響を中心に―
四国大学講師　森上　洋光

３．字座の研究―マッハ効果とポテンシャル場を用いて―
静岡大学大学院生　沓名健一郎　静岡大学教授　平形　精一
名古屋大学大学院理学研究科博士課程研究員　高田　宗樹
名古屋大学工学部大型計算機センター教授　宮尾　　克

16：00～16：20　**分科会報告**（第１会場　1001-2室）

16：20　**閉　　会**

**懇親会**

３学会合同の懇親会

日　時　　11月17日（日）午後５時00分から

**幹事会**

常任幹事、地方幹事

日　時　　11月16日（土）　19：00～21：00

## 平成13年度　全国大学書道学会活動報告書

（平成13年）

| | |
|---|---|
| ５月12日 | 常任幹事会〔平成13年度 上越大会について〕 |
| ６月14日 | 上越大会要項（第１次）・紀要・書作品展図録・名簿等送付 |
| ７月６日 | 本年度大会研究発表応募締切 |
| ７月中～下旬 | 発表要旨査読 |
| ７月20日 | 本年度会員書作展作品締切 |
| ８月９日 | 研究発表の許可について通知 |
| ９月８日 | 常任幹事会〔上越大会について・役員改選、査読制度見直し、規約改正、次期学術会議登録に向けて等について〕 |
| 10月27日 | 上越大会要項（第２次）・発表要旨集等送付 |
| 11月17日 | 幹事会〔上越大会総会議題検討〕、書道三学会合同懇親会 |
| 11月18日 | 平成13年度 上越大会〔総会・研究発表・講演〕 |
| 11月15～18日 | 平成13年度会員書作展 |

（平成14年）

| | |
|---|---|
| ２月 | 紀要編集 |
| ３月９日 | 常任幹事会〔上越大会反省・次年度静岡大会日程について・査読制度内規案、紀要形式検討・日本学術会議学術研究団体登録申請について〕 |

## 平成13年度　全国大学書道学会決算報告書

Ａ・〔収入の部〕

| | |
|---|---|
| １）平成12年度からの繰越金 | 2,458,034 円 |
| ２）平成13年度会費収入 | 939,000 円 |
| 合　計（Ａ） | 3,397,034 円 |

Ｂ・〔支出の部〕

| | |
|---|---|
| １）総会運営費 | 116,629 円 |
| ２）幹事会費 | 119,578 円 |
| ３）通信費 | 203,420 円 |
| ４）会員書作品展図録代 | 360,000 円 |
| ５）研究紀要代 | 686,700 円 |
| ６）事務費 | 178,877 円 |
| ７）慶弔費 | 0 円 |
| 合　計（Ｂ） | 1,665,204 円 |

（Ａ）総収入－（Ｂ）総支出＝ 残　高
3,397,034 －　1,665,204　＝ 1,731,830 円（次年度繰越金）

上記の通り報告いたします。

平成14年11月17日　　全国大学書道学会　　監査　　前田舜次郎
会計　　青山　浩之

## 平成14年度　全国大学書道学会活動計画

（平成14年）

| | |
|---|---|
| ５月２日 | 平成14年度会員票（はがき）・会費振替用紙送付 |
| ５月18日 | 常任幹事会〔平成14年度静岡大会について・紀要掲載論文査読規定について・日本学術会議学術研究団体登録申請について〕 |
| ５月31日 | 日本学術会議第19期学術研究団体登録申請書提出 |
| ６月上～中旬 | 会員名簿作成、上越大会要項（第１次）作成 |
| ６月20日 | 静岡大会要項（第１次）・紀要・書作品展図録・名簿等送付 |
| ７月10日 | 本年度大会研究発表応募締切 |
| ７月中～下旬 | 発表要旨査読 |
| ８月10日 | 研究発表の許可について通知<br>本年度会員書作展作品締切 |
| ９月14日 | 常任幹事会〔静岡大会について・研究発表順、会場設定について・総会議事案について・紀要掲載論文査読方法について〕 |
| ９月中旬 | 日本学術会議第19期学術研究団体登録申請結果通知 |
| 10月18日 | 静岡大会要項（第２次）・発表要旨集等送付 |
| 11月16日 | 幹事会〔静岡大会総会議事検討〕 |
| 11月17日 | 平成14年度静岡大会〔総会・研究発表・講演〕<br>書道三学会合同懇親会 |
| 11月17～18日 | 平成14年度会員書作展 |
| 11月下～12月中旬 | 研究発表論文査読 |

（平成15年）

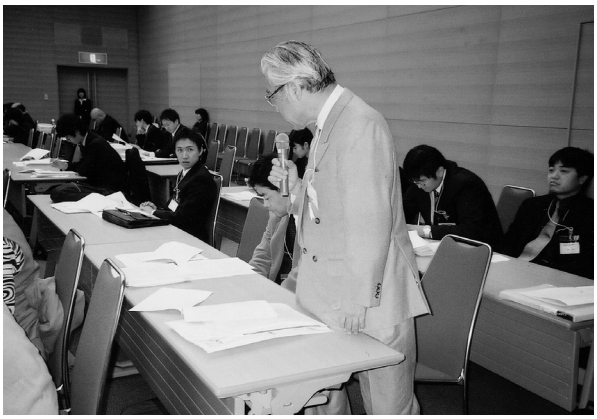
| | |
|---|---|
| １月～２月 | 紀要編集 |
| ３月中旬 | 常任幹事会〔静岡大会反省・次年度福岡大会日程について〕 |

## 平成14年度　全国大学書道学会予算

| | |
|---|---|
| A・〔収入の部〕 | |
| １）平成13年度からの繰越金 | 1,731,830 円 |
| ２）平成14年度会費収入 | 1,920,000 円 |
| 合　計（A） | 3,651,830 円 |
| B・〔支出の部〕 | |
| １）総会運営費 | 150,000 円 |
| ２）幹事会費 | 200,000 円 |
| ３）通信費 | 250,000 円 |
| ４）会員書作品展図録代 | 360,000 円 |
| ５）研究紀要代 | 750,000 円 |
| ６）事務費 | 200,000 円 |
| ７）予備費 | 1,741,830 円 |
| 合　計（B） | 3,651,830 円 |

全国大学書道学会

全国大学書道三学会　静岡大会　平成14年11月18日　於グランシップ　静岡県コンベンションアーツセンター



# 平成十四年度　全国大学書道学会

## 新入会員

| | | 推薦者 |
|---|---|---|
| 福光　佐今 | 奈良教育大学教授 | |
| 豊田　宗児 | 奈良教育大学助教授 | |
| 川原　淳 | 東京書芸協会会長 | （綾部宏行） |
| 中島　利華 | 船橋市立塚田小学校教諭 | （阿保直彦） |
| 丸山　果織 | 大阪教育大学大学院（修了者） | （萱のり子） |

## 新入準会員

| | | |
|---|---|---|
| 宮村　弦 | 新潟大学大学院 | （野中浩俊・鶴田一雄・岡村　浩） |
| 片山　真澄 | 武蔵野女子大学大学院 | （広瀬裕之） |
| 佐々木拓也 | 横浜国立大学大学院 | （青山浩之） |
| 圓山　由香 | 横浜国立大学大学院 | （青山浩之） |
| 沓名健一郎 | 静岡大学大学院 | （平形精一） |
| 見城　正訓 | 静岡大学大学院 | （平形精一） |
| 中野　正和 | 福岡教育大学大学院 | （小原俊樹） |

## 退会会員

池末　礼禧
大槻　千穂
大房鉄太郎
五江渕　充
菅井　時枝
鈴木　和明
田渕　保夫
津金　孝邦
津田　忠彦
府川　次男
増田　徳子
松本　映子
山本　紀彦
鷲山マサ子
久保　幽香（ご逝去）

事務局
〒240－8501　神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79－2
横浜国立大学　教育人間科学部
国語・日本語教育講座　青山（書道）研究室内
全国大学書道学会

## 新入会員推薦のお願い

会員の先生から、新入会員・準会員をご推薦いただき、さらに本会の充実を図りたいと考えております。「規約」と「新入会員用会員原票（入会申込書)」をとじておきましたので、よろしくお願いいたします。

※「新入会員用会員原票（入会申込書)」に記入の上、事務局（下記所在地）まで郵送してください。

※年会費は、会員6,000円・準会員5,000円です。なお、大学院修了後は、会員の資格として扱います。送金は、必ず郵便振替（青色用紙）でお願いします。(用紙の通信欄に、「新入会員」もしくは「新入準会員」と明記してください。）振込先は下記の通りです。

**■口座番号　00110－9－613810　　■加入者名　全国大学書道学会**

〈事務局〉〒240－8501　神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79－2
横浜国立大学　教育人間科学部　　国語・日本語教育講座
青山（書道）研究室内　　TEL　045－339－3450

**全 国 大 学 書 道 学 会**

キリトリセン

全国大学書道学会　新入会員用会員原票（入会申込書）

〔 会員・準会員 〕どちらかに○　　会員番号　※　　―

| | | | |
|---|---|---|---|
| 都道府県名 | | ※平成　年　月　日 入会 | |
| ふりがな | | ふりがな | |
| 氏　名 | 印 | 雅　号 | |
| | | 最終卒業校 | |
| 生年月日 | (明・大・昭　年　月　日生 男・女) | | |
| 勤務先 | 職　名 | | |
| 勤務先<br>所在地 | 〒 | 電話番号（下段はFAX）<br>(　　)　－<br>(　　)　－ | |
| 現住所 | 〒 | 電話番号（下段はFAX）<br>(　　)　－<br>(　　)　－ | |
| 帰省先<br>(大学院生の方) | 〒 | 電話番号<br>(　　)　－ | |
| 推薦者（会員）<br>及　び<br>推薦理由<br><br>〔規約第２条に定めた資格に該当するもの（大学教官等）は、記入不要〕 | | | |